

開講科目名 Course	租税法研究演習 2 年（松井先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18021
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 3
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	2,3,4
主担当教員 Main Instructor	松井 幹夫
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	3 3 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	松井 幹夫（法学研究科修士課程）
授業の目標	
授業の概要	<p>本演習では、参加者各自が選択したところによる専門テーマについて、テーマ選択者による報告、他の参加者による質疑、全員による討議を通じて租税法学の研究を深めるとともに、修士論文の作成指導にあたる。具体的には次の通りとする。</p> <p>(1)4月～7月：論文テーマを決定し、必要な資料を収集させ、論文の目次を策定させることまでを目標とする。</p> <p>(2)夏休み：自主ゼミの実施を通し、書き易いところから書き始め、論文の形を作り上げることを目標とする。</p> <p>(3)9月～10月：論文の中身の整合性及び論旨展開等のチェックを通じて、論文を作り上げることを目標とする。</p> <p>(4)10月末：この時期までに、初稿が出来上がることを目標とする。</p> <p>(5)11月～12月：論文の内容精査及びゼミ生同志による読み合わせチェックを行う。</p> <p>(6)1月：期限までに論文を提出させる。</p> <p>【評価方法】</p> <p>出席及び授業への貢献度等を総合的に勘案して評価する。</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	
参考書	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	

SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	